

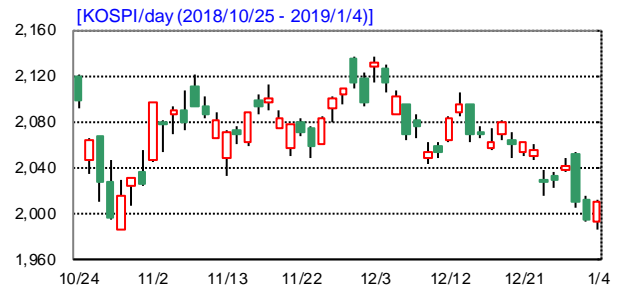


【韓国】 総合指数は 1.5%安と 5 週続落、今週は米中通商協議や経済指標に注目

先週の動き／今週の展望

総合指数は週間で 1.5%安と 5 週続落。週前半が正月連休だったため 3 日間の取引。世界的な景気減速への警戒感が高まる中で売り優勢の展開だった。2019 年の初取引となった 2 日は 1.5%超の大幅安。3 日も下落し、終値ベースで 2 カ月ぶりの安値を付けた。韓国と中国で発表された 18 年 12 月の製造業 PMI が低調だったことや、米アップルが業績見通しを引き下げたことを受けてサムスン電子などが大きく売られた。一方、4 日は買い戻しが入って反発。前日に割り込んだ節目の 2000 ポイントを回復して週の取引を終えた。今週は 7-8 日に開催される米中通商協議や主要経済指標の発表を控えて神経質な値動きか。国内では 9 日に雇用統計、10 日にマネーサプライが発表される予定。米中では 8 日に貿易統計が発表される。

▼指数チャート

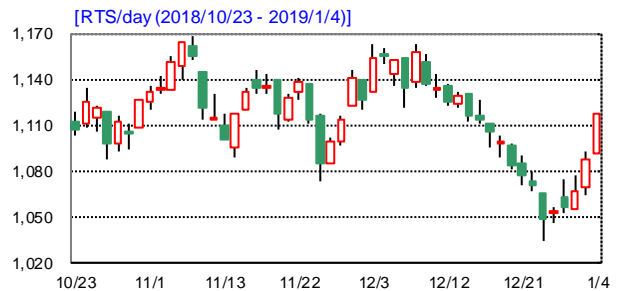


【ロシア】 RTS 指数は 4.9%高と 4 週ぶり反発、今週は米口関係をにらんだ展開か

先週の動き／今週の展望

RTS 株価指数は週間で 4.9%高と大幅に 4 週ぶりに反発。2 日間の取引だったが、年明けから原油相場が堅調に推移したことを好感し、株価も大幅高となった。RTS 指数は年初からの原油高を受け、年明け 3 日の取引で前営業日比 1.9%高と上昇してスタートし、4 連休を前にした 4 日の取引でも 2.9%高と大幅に続伸した。12 月 31 日に前日比 3.1%高と上昇したブレント原油先物相場は、1 月 2 日から 4 日までの 3 日間で 6.1%高と続伸。これを受けてガスプロムやルクオイルなどのエネルギー株が大幅に上昇したほか、時価総額 2 位のズベルバンク・オブ・ロシアも 2.4%高となり、指数を押し上げた。今週は 7 日がロシア正教クリスマス、8 日が新年休暇のため、3 日間の取引となる。原油相場や米口関係をにらんだ展開か。

▼指数チャート



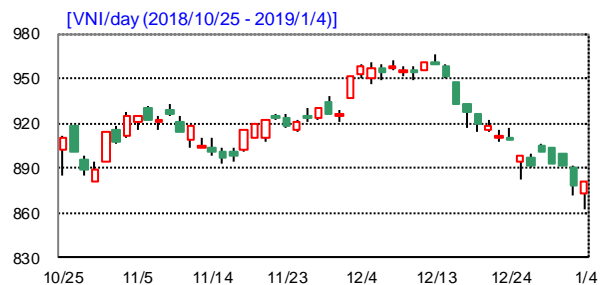
【ベトナム】 ベトナム指数は 1.3%安と 4 週続落、今週は値ごろ感から押し目買いに

期待

先週の動き／今週の展望

VN 指数は週間で 1.3%安と 4 週続落。米アップルの業績見通し引き下げなどで景気減速懸念が強まり、3 日は東南アジア市場で値下がり率トップとなった。年明け 2 日は前営業日比 0.1%安と小幅に下落してスタートし、3 日は米アップルが業績見通しを引き下げたことで、韓国のサムスン電子がスマートフォン製造の最大拠点を置くベトナムでも、スマホ市場低迷による景気減速懸念が強まった。VN 指数は前日比 1.5%安で東南アジア市場で値下がり率トップ。終値は 878.22 ポイントと、2017 年 11 月 10 日以来の安値となった。4 日は中国经济指標が好調となったことで 0.3%高と反発するも、それまでの下げ幅を埋めるには至らなかった。今週は、米中貿易交渉に注目が集まる。値ごろ感から押し目買いにも期待できそうだ。

▼指数チャート



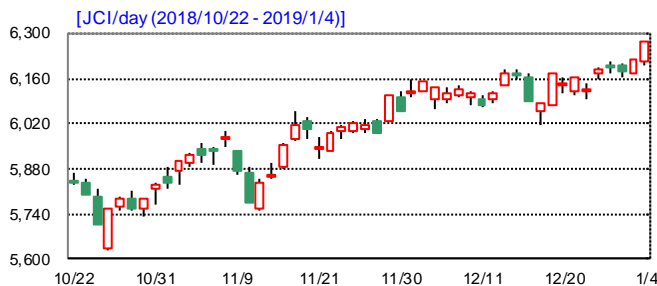


【インドネシア】

【先週の動き／今週の展望】ジャカルタ総合指数は 1.3%高、燃料の生産量増加でエネルギー株に買い

ジャカルタ総合指数は3日間の取引で1.3%高と続伸。週後半の上昇が奏功した。連休明けの2日は、中国の18年12月の財新製造業PMIが49.7と景況感の分岐点となる50ポイントを下回ったことが嫌気され、指数は3営業日ぶりに反落。ただ、3日に反動で買い戻され、終値で約8カ月ぶりに6200ポイントに到達すると、4日は18年の石炭とバイオディーゼルの生産量が大幅に増加したことを受けてエネルギー株が買われ、続伸して取引を終えた。今週は7日発表の11月の小売売上高に対する市場の反応が焦点。外部要因では7-8日に北京で開催される米中の次官級貿易協議の内容が相場を左右しそうだ。

▼指数チャート

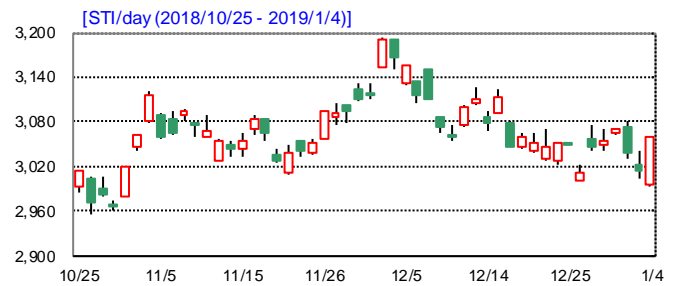


【シンガポール】

【先週の動き／今週の展望】ストレーツタイムズ指数は 0.2%高、週末の反発が奏功

ストレーツタイムズ指数は4日間の取引で0.2%高と続伸。年初からの下落分を週末の反発で補った。半日立ち合いとなった12月31日は、前週末の米中首脳による電話協議を受けて、貿易摩擦緩和への期待が高まった効果で3営業日続伸。一方、祝日を挟んだ2日は、18年10-12月期のGDP速報値が前年同期比2.2%増と市場予想から下振れしたことが嫌気され、指数は終値で前営業日比1.0%安と反落した。3日は米アップルが10-12月期の売上高の見通しを下方修正した影響で続落したが、4日は引け際に買いが集中し、前日比1.5%高と反発している。今週は11日に11月の小売売上高が発表される予定。

▼指数チャート

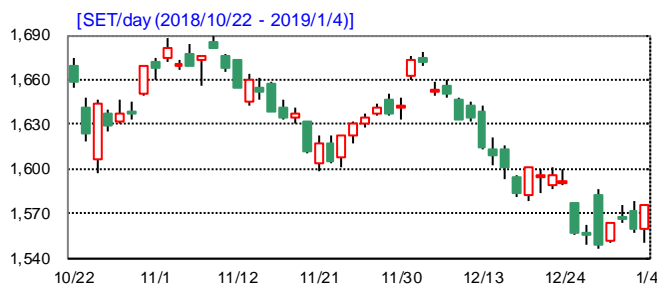


【タイ】

【先週の動き／今週の展望】SET 指数は 0.7%高、産油国の協調減産開始を好感

SET指数は3日間の取引で0.7%高と4週ぶりに反発。週末の上昇が指数を支えた。19年の初取引となった2日は小幅ながら続伸してスタート。3日は今年の燃料需要が減退するとの見方が嫌気され、エネルギー株が下げを主導したものの、4日はOPECが主導する協調減産が今月から開始されることを受けた原油価格の上昇でタイ石油公社(PTT)などが買われ、指数は終値で前日比1.0%高と反発して引けた。今週は18年12月の米雇用統計が好調だったことに加え、FRBのパウエル議長が金融政策を柔軟に見直す方針を示したことが好感されるか。前週末のNYダウが急反発した流れを引き継げるか注目される。

▼指数チャート

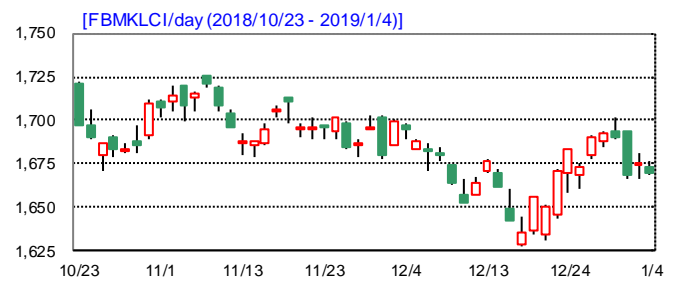


【マレーシア】

【先週の動き／今週の展望】クアラルンプール総合指数は 1.3%安、中国の景気減速懸念を嫌気

クアラルンプール総合指数は4日間の取引で1.3%安と3週ぶりに反落。総じて軟調な値動きだった。週初の12月31日は、中国の18年12月の公式製造業PMIが49.4と2年5カ月ぶりに節目の50ポイントを下回ったことが嫌気され、3営業日ぶりに反落。2日は中国の景気減速に対する懸念が広がった影響で前営業日比1.3%安と続落した。その後、3日は反動で下げ止まったものの、4日は11月の輸出額が前年同月比1.6%増と市場予想から下振れしたことに加え、前日のNYダウがアップルの株価急落で大幅下落したことで売られ、反落して引けた。今週は11日に11月の鉱工業生産と小売売上高が発表される予定。

▼指数チャート



本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようにはしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があり、また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。